

PAT-NO: JP410154041A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10154041 A
TITLE: STAND FOR DISPLAY INTEGRATED TABLET
PUBN-DATE: June 9, 1998

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
CHIBA, KENJI

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
MUTOH IND LTD N/A

APPL-NO: JP08326216
APPL-DATE: November 21, 1996

INT-CL (IPC): G06F003/033, G06F003/03 , G09F009/00 ,
G09F009/35

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To reduce the occupied area of a base of a stand which supports a display integrated tablet in multistage in an inclinable way and to prevent the display integrated tablet which is supported in a inclined state from falling down carelessly.

SOLUTION: A supporting body 2 which supports a liquid crystal display integrated tablet 4 on the top side is, supported with a pivot by the base 6 that is mounted on a mounting plane of a desk, etc., in a freely inclinable way against the base 6. Plural stoppers 10a that lock the one end of a supporting

arm 12 are arranged at the bottom of the body 2, and the body 2 can be supported on the base 6 in an inclined state by bringing the end of the arm 12 into contact with a desired stopper 10a among plural stoppers 10a. A locking member 14c which prevents the end of the arm 12 from coming off from the stopper 10a is attached to the body 2, and the member 14c can be moved in the direction of releasing the engagement with the end of the arm 12.

COPYRIGHT: (C)1998, JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-154041

(43)公開日 平成10年(1998)6月9日

(51)IntCl.⁶

識別記号

F I

G 0 6 F 3/033

3 6 0

G 0 6 F 3/033

3 6 0 A

3/03

3 1 0

3/03

3 1 0 C

G 0 9 F 9/00

3 6 4

G 0 9 F 9/00

3 6 4 Z

9/35

3 0 7

9/35

3 0 7

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平8-326216

(22)出願日 平成8年(1996)11月21日

(71)出願人 000238566

武藤工業株式会社

東京都世田谷区池尻3丁目1番3号

(72)発明者 千葉 謙二

東京都世田谷区池尻3-1-3 武藤工業

株式会社内

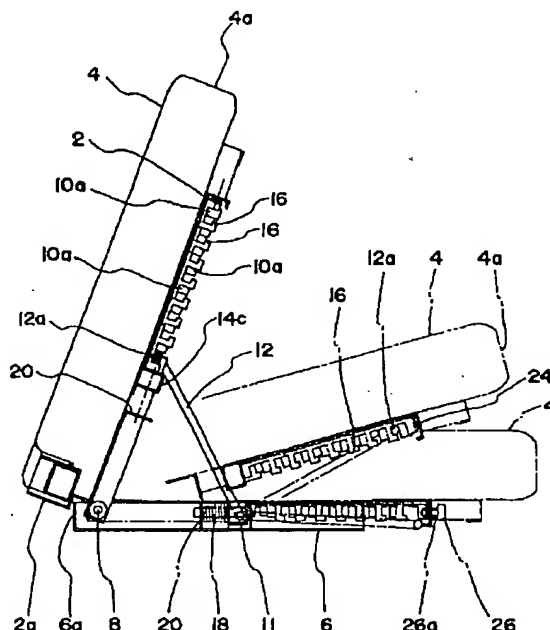
(74)代理人 弁理士 西島 綾雄

(54)【発明の名称】 表示一体型タブレット用スタンド

(57)【要約】

【課題】 表示一体型タブレットを多段階に傾斜可能に支持するスタンドのベースの専有面積を小さくすることが出来るようにするとともに、傾斜状態に支持された表示一体型タブレットが不用意に倒れないようにする。

【解決手段】 デスク等の載置面上に載置されるベース(6)に、これに対して傾斜自在に、上面側に液晶表示一体型タブレット(4)を支持する支持体(2)が枢支されている。支持体(2)の下面側には、支持アーム(12)の他方を係止するストッパー(10a)が複数配設され、支持アーム(12)の他方を複数のストッパー(10a)の中の所望のストッパー(10a)に当接することにより、支持体(2)をベース(6)に対して傾斜した状態に支持することができる。支持体(2)には、支持アーム(12)の他方がストッパー(10a)から外れるのを阻止するための係止部材(14)が取付られ、この係止部材(14)は、支持アーム(12)の他方との係合が解除する方向に移動可能となっている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 デスク等の載置面上に載置されるベース（6）と、該ベース（6）に対して傾斜自在に枢支され、上面側に液晶表示一体型タブレット（4）を支持するようにした支持体（2）とから成る表示一体型タブレット用スタンドにおいて、前記ベース（6）に支持アーム（12）の一方を揺動自在に枢支し、前記支持体（2）の下面側に、前記支持アーム（12）の他方を係止するストッパー（10a）を前記支持体（2）の前後方向に沿って複数設け、前記支持アーム（12）の他方を前記複数のストッパー（10a）の中の所望のストッパー（10a）に当接して前記支持体（2）を前記ベース（6）に対して傾斜した状態に支持し得るように成し、前記支持体（2）に、前記支持アーム（12）の他方が前記ストッパー（10a）から外れるのを阻止するための係止部材（14）を設け、前記係止部材（14）を、前記支持アーム（12）の他方との係合が解除する方向に移動自在としたことを特徴とする表示一体型タブレット用スタンド。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、表示一体型タブレット用スタンドに関する。

【0002】

【従来の技術】座標解析板と液晶表示板とが一体的に形成され、入力ペンの位置を座標値として出力することができるとともに、データを液晶画面に表示することができるようにした液晶表示一体型タブレットがビデオタブレットとして市販されている。また、自在平行定規等をセットした製図板を傾斜自在とした卓上製図台や傾斜自在なブックスタンドが従来知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ビデオタブレットの入力作業において、例えば電話をしながら片手でメモを取るような場合、ビデオタブレットは、フラット若しくは少し傾斜した状態の方が操作し易い。反面、例えば入力ペン1本で膨大なデータの中から必要な情報だけをピックアップするポインティング及びクリック検索入力作業は、ビデオタブレットをパソコンのモニタと同様に立てて使用した方が操作し易い。しかるに、ビデオタブレットを所望の傾斜角度に設定し得るようにしたビデオタブレット専用のスタンドは市販されていない。従来の、卓上製図台は、卓上に載置するベース部に、支持アームを係止するストッパーが設けられているため、ベース部が大型となってしまう。そのため、ビデオタブレット専用のスタンドに応用出来ない。従来のブックスタンドは、ベース部側に支持アームを枢支し、本を載せる支持部側にストッパーが設けられている点で、ベース部の大型化という問題点は解決できるが、支持部の傾斜角度が小さいと、支持アームの上部とストッパーとの当接状態が外

れ易くなり、支持部への負荷をなくすと、支持アームがストッパーから外れて、支持アームが倒れてしまうという問題点がある。本発明は上記問題点を解決することを目的とするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明は、デスク等の載置面上に載置されるベース（6）と、該ベース（6）に対して傾斜自在に枢支され、上面側に液晶表示一体型タブレット（4）を支持するようにした支持体（2）とから成る表示一体型タブレット用スタンドにおいて、前記ベース（6）に支持アーム（12）の一方を揺動自在に枢支し、前記支持体（2）の下面側に、前記支持アーム（12）の他方を係止するストッパー（10a）を前記支持体（2）の前後方向に沿って複数設け、前記支持アーム（12）の他方を前記複数のストッパー（10a）の中の所望のストッパー（10a）に当接して前記支持体（2）を前記ベース（6）に対して傾斜した状態に支持し得るように成し、前記支持体（2）に、前記支持アーム（12）の他方が前記ストッパー（10a）から外れるのを阻止するための係止部材（14）を設け、前記係止部材（14）を、前記支持アーム（12）の他方との係合が解除する方向に移動自在としたものである。

【0005】

【発明の実施の形態】以下に本発明の構成を、添付した図面に示す発明の実施の形態を参照して詳細に説明する。（2）は液晶表示一体型タブレット（4）を支持する支持体であり、該支持体（2）は前面（2a）近傍部分を基準としてベース（6）に対して起倒方向に傾斜し得るように、その前面（2a）近傍部分の下面がベース（6）の前面（6a）近傍部分に回転自在に軸（8）支されている。前記支持体（2）の裏面には、ストッパー部材（10）（10）が、タブレット（4）の両側面に対して平行に、固設され、左右のストッパー部材（10）（10）には、等間隔で、複数の突起から成るストッパー（10a）が左右対称に形成されている。

【0006】（12）は前記ベース（6）の略中間に、起倒自在に枢支（11）された支持アームであり、これの上部の水平部（12a）が前記複数のストッパー（10a）のうち、所望の左右一対のストッパー（10a）（10a）に当接し得るように構成されている。（14）は係止部材であり、両側板部（14a）（14b）にL型の引掛用突起（16）が前記ストッパー（10a）ごとに、左右対称に形成されている。前記係止部材（14）の前部（14c）には、該係止部材（14）を支持体（2）に対して前後方向にスライド自在に案内する軸体（18）が固設され、該軸体（18）は、支持体（2）の裏面に固設された立ち上り片（20）の穴にスライド自在に嵌合している。

【0007】前記軸体（18）にはコイルスプリング

(22)が嵌挿配置され、該コイルスプリング(22)は、係止部材(14)を、支持体(2)の裏面に固設された立ち上り片(20)を支点として、矢方向(A)で示す、タブレット(4)の後面(4a)方向に付勢している。前記係止部材(14)の後部は、支持体(2)の裏面に固設された立ち上り片(24)に対向している。前記立ち上り片(24)の穴にはスライド自在に係止解除ボタン(26)の軸部(26a)が嵌挿され、該軸部(26a)の先端は前記係止部材(14)の後部に固定されている。

【0008】次に本実施形態の作用について説明する。係止解除ボタン(26)を手操作により押すと、引掛用突起(16)が、図3に示すように、支持アーム(12)と係合する位置から、係合解除方向(B)に移動する。該状態において、手操作により、タブレット(4)を軸(8)を中心として、所望の傾斜角度に設定し、支持アーム(12)の水平部(12a)を、対応する一対のストッパー(10a)に当接し、係止解除ボタン(26)の押圧を解除する。

【0009】これにより、係止部材(14)は、支持アーム(12)と係合し、該支持アーム(12)が、ストッパー(10a)から外れるのを阻止する。従って、支持アーム(12)の水平部(12a)が支持アーム(12)の枢支(11)部から図1中、右側に移動した状態であっても、支持アーム(12)が倒れてしまうことがない。タブレット(4)の傾斜角度を変更する場合には、係止解除ボタン(26)を押して、支持アーム(12)を、ストッパー(10a)から外し、所望のストッパー(10a)を選択する。本実施形態において、タブレット(4)は、ベース(6)に対して、ゼロから略70度の範囲で多段階に傾斜角度を変更出来るように構成されている。

【0010】

【発明の効果】本発明は上述の如く、タブレット側に複

数のストッパーを設け、ベース側に支持アームを枢支したので、ベース側の占有スペースを小さくすることが出来る。また、解除可能に係止部材を設けたので、タブレットのベースに対する傾斜角度を小さくしても、支持アームがストッパーから外れることがなく、高額商品である表示一体型タブレットを損壊させることがないという効果が存する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明である液晶表示一体型タブレット用スタンドの側面図である。

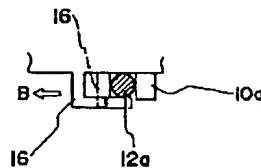
【図2】液晶表示一体型タブレット用スタンドの背面図である。

【図3】本発明の要部の説明図である。

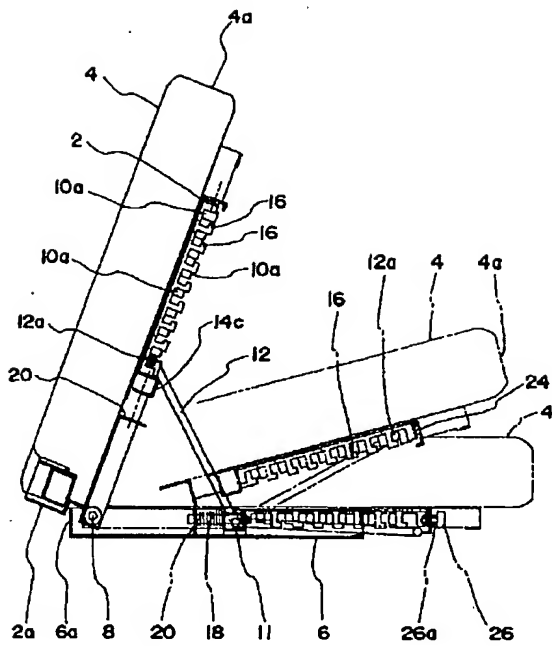
【符号の説明】

2	支持体
4	タブレット
6	ベース
8	軸
10	ストッパー部材
10a	ストッパー
11	枢支
12	支持アーム
12a	水平部
14	係止部材
14a	側板部
14b	側板部
14c	前部
16	突起
18	軸体
20	立ち上り片
22	コイルスプリング
24	立ち上り片
26	係止解除ボタン
26a	軸部

【図3】



【図1】



【図2】

